

あなたと議会をつなぐ

つばた

議会だより

・No. 178・
2026.7.5

特集

新町政
スタート
インタビュー

4月・6月会議

P4 議案審査

P8 一般質問

P14 議会と語ろう会

全町民に防災備蓄用品

10人が登壇

英田地区の未来を語る

裏表紙に
絵札紹介



津幡かるた表紙シリーズ 第13弾

走り出した 吉田町政！！

吉田町長の所信全文は
広報つばた5月号2ページ
をご覧ください。



「継承」と「発展」



若者が集える町に。
24時間営業のファミレスやリラックスできる
温浴施設など、若者が集える場所がほしいな。



インクルーシブ教育を。
どんな子でも輝ける一歩
先ゆく津幡町ならではの
教育改革を期待していま
す！



子どもたちのために、
もっときれいな津幡
川になるよう努力し
てほしいです。



第7代町長
よしだ かつや
吉田 克也 氏

議員が聞いた/
まちの声
interview

新町長に 期待すること

中条地区に家を建てたいと考えています。
将来子育てをするときに、小児科や産科がな
いと不安。新病院での小児医療の充実に加え、



小児科の開業医を
増やしてほしい。
また、気軽に行け
るスーパー銭湯の
誘致を。



高齢者だけでは
なく、子どもや若
者、バランスの取
れた新町政に期
待しています。

新町長に期待すること
として、幅広い世代の
方々から聞いた町の声
を紹介します。



ぜひとも浅谷に来て
いただいて、町政の
報告をお願いいたし
ます。



新しい視点でのまちづく
りに期待しています。
また、中山間地域も含め、
町全体がバランスよく発
展していくことを願って
います。
50年後、100年後につ
ながる未来を見ずえたま
ちづくりを期待していま
す。

議会の 視点 定説ヲ ブチャブレ

町の教育行政を担ってきた吉田克也氏が、矢田富郎
前町長からバトンを受け、新しいリーダーに就任した。
吉田町長には、教育現場での経験と教育長としての
実績から、教育や子育てに関する政策や住民対話型行
政を期待する声大きい。

矢田町政の継承と共に、吉田町長の好きな言葉であ
る「定説ヲブチャブレ」を実践し、行政運営にどう生
かされるか、注視していきたい。

障害のある方やその家族も安心して暮
らせるよう、障害福祉の充実を期待し
ます。相談支援や地域の支え合いを
大切にし、誰もが暮らしやすいまちづ
くりを願っています。



高齢化が進む中山間地
では、草刈りが重労働です。
有効な補助金制度などを
新町長さんに期待してい
ます。



津幡町には小さな子どもを連れて気軽に行けるお店がないので、
ファミレスを誘致してほしい。
双子の育児にはお金がかかります。おむつやランドセルなど育児に
必要な物の購入に対する補助はありませんか？

津幡駅東口改札整備

津幡駅整備事業費 1300万円



津幡駅の利便性アップ（左上は建設中の東西自由通路）

現在、整備が進められている津幡駅において、東口利用者の利便性向上を図るため、新たに改札を設置するための基本設計費が計上された。
今のところ改札の場所は未定だが、津幡駅東口周辺整備事業の進捗なども踏まえながら、今後 I R いしかわ鉄道と協議を行う。



子どもの生活支援強化

地域こどもの生活・学習支援事業費 79万円

町文化会館シグナス内の児童センターに中高生の居場所をつくり、子どもたちが安心して過ごせる環境を確保するため、同センターの開館時間を延長する。
今年度は、試行的に週1回、19時までを予定している。
次年度以降は、週5日間の実施を目指す。
また、地域での子どもの居場所の開設運営に対する補助金も計上された。

（6ページ参照）



中高生にも利用しやすい時間帯へ

議会の視点



6月会議の補正予算では、当初の骨格予算から政策的事業を計上した肉付け予算となった。これは町長選挙が行われる年の予算編成であり、矢田前町長が吉田新町長に託した事業が反映されている。
これからは、吉田町長が目指す子育てしやすいまちづくり、安心して暮らせるまちづくりの具現化に向けた施策の真価が問われる。

議案6件・請願1件・報告6件・同意3件・諮問1件
一般質問には、10人が登壇（8ページ～）
※採決結果は、7ページをご覧ください。

6月会議（6月4日～11日）

6月会議では、一般会計11億1079万円の増額補正予算などを可決しました。
内容は、除雪状況可視化システム導入業務委託、防災行政無線の更新、小規模校のトイレ改修工事などです。
6月会議のピックアップは、地域防災力向上事業費と観光拠点モビリティ整備事業費などです。

町民あげて平時からの防災意識と防災備蓄を

地域防災力向上事業費 4億1503万円



防災啓発番組を視聴



申請した全町民に防災備蓄用品を提供
（画像はイメージであり、内容は選定中）

家庭内における平時からの防災意識の促進を図るため、防災啓発番組視聴者に世帯全員分の防災備蓄用品を提供する。
また、番組を視聴できない方やデジタル対応が苦手な方のために各地域での説明会を実施し、防災啓発番組を視聴してもらう。書面による防災備蓄用品の申請をできるようにするなど、さまざまな申請方法を予定している。

河合谷・倶利伽羅地区の観光振興 電動アシスト付自転車で周遊

観光拠点モビリティ整備事業費

4163万円



キンシュレなどを拠点に貸出し予定

観光拠点である倶利伽羅塾と河愛の里キンシュレに、坂道でも楽に上ることができると高性能な電動アシスト付自転車を設置し、貸出しする。
来訪者の周遊性・利便性を高めて観光誘客の拡大を図る。

※金額はすべて1万円未満切り捨てで記載しています

生涯教育課
上富田町との絆深める
幅広く交流を

小学生国内派遣交流事業費

Q 事業費の内容は。
A 宿泊費や食費は上富田町が負担し、町の負担は交通費のみ。派遣予定児童数は20人で町子ども会連合会に委託する。現在のところ、継続事業となる予定はない。
※和歌山県上富田町と、平成24年に災害時相互応援協定を締結。

教育総務課
国際交流イベントなどの
情報提供

国際交流事業費

Q 国際交流コーナーにはどのようなものを置く予定か。
A 国際交流イベントなどのお知らせを掲示するほか、外国人向けの暮らしの情報や防災情報などを置く。

生涯教育課
中条公民館リニューアル

中条公民館長寿命化改修事業費

Q 改修内容は。
A 建設から45年経過したため、大規模な改修が必要となっている。建物の骨組みをそのままに、地域の意見を取り入れた改修を行う。
なお、改修工事は来年度着工予定。



委員会で現地確認

子育て支援課
地域で取り組む子育て支援

地域こどもの生活・学習支援事業費

Q 地域こどもの生活支援強化事業補助金とは。
A こども食堂などの新規開設費と運営費に対する補助金。既存の団体1か所と新規開設する団体の費用を見込む。

総務課
もっと聞こえやすく

防災行政無線整備費

Q 町内何か所の防災行政無線を更新するのか。
A 町内78か所すべての機器を更新予定。
Q 聞こえづらい地域の対応は。
A 高性能なスピーカーに交換し、スピーカーの向きも配慮する予定。

都市建設課
地域で高める防災意識

地区の防災意識向上プログラム事業費

Q 町内どの地区でも実施可能なのか。
A 土砂災害に特化した支援事業であり、町内60か所が対象である。
すでに、田屋・岩崎地区など6地区において地区独自の防災マップを作成した。



地区独自の防災マップ

請願・陳情・討論

6月会議に提出された請願・陳情の結果をお知らせします。
請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき、どなたでも提出することができます。
請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

不採択

緊急事態条項の導入について慎重な検討を求める意見書を送付する請願

◎請願者 山田 哲也
紹介議員 中島 敏勝

賛成

緊急事態条項や自衛隊明記だけを先行して進めるのではなく、日本が他国の都合に左右されない真に自立した国家となるため、国民全体が憲法を学び、日本の独立、安全保障について国民的議論を深める必要がある。

中島 敏勝 議員

反対

本請願には国民の不安を過度にあおる表現が含まれており、また、国会でも憲法審査会等において継続的な議論が行われており、拙速とは言えない。

東 克彦 議員

緊急時に政治的空白を生じさせないための制度を検討することは必要である。

柴田 洋一 議員

討論

8年度町一般会計補正予算

賛成

地震からの復興に関するもの、町民生活を支える事業や、本町の将来につながる事業があり高く評価する。

中島 敏勝 議員

反対

体験型観光交流公園内に関する工事も含まれている。来園者予測の根拠があいまいで問題がある。

塩谷 道子 議員

採決結果

賛否の分かれた議案のみを掲載しています

4月会議（4/30）・6月会議（6/4～6/11）

全議案の結果はこちらから

4月
議決結果



6月
議決結果



○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 退：議場に不在（棄権） ー：議長は採決に加わらない

議 案 名 (議案名は一部省略してあります)		結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
池野 翔吾			池野	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
柴田 翔一			柴田	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
東 敏彦			東	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
中島 敏勝			中島	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
小倉 一郎			小倉	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
小町 実			小町	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
竹内 竜也			竹内	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
八十 孝司			八十	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
西村 稔			西村	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
酒井 義光			酒井	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
塩谷 道子			塩谷	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
多賀 吉一			多賀	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
向 正則			向	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
道 政博			道	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
谷 正一			谷	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
河上 孝夫			河上	柴田	東	中島	小倉	小町	竹内	八十	西村	酒井	多賀	向	道	谷	河上	
4月会議 議案10件中9件全会一致で可決承認																		
町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
6月会議 議案17件中15件全会一致で可決(4～7ページに関連記事掲載)																		
議案																		
8年度町一般会計補正予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
請願																		
緊急事態条項の導入について慎重な検討を求める意見書を送付する請願		不採択	×	×	×	○	×	×	○	ー	×	×	○	×	×	×	×	×
【同意】町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて(松島 直広氏の選任に同意)…全員賛成																		
【同意】町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(高倉 明氏の選任に同意)…全員賛成																		
【同意】町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて(瀧川 悟、酒井 美代子、吉本 市港、油島 慧、加藤 篤、宮坂 久司、紺谷 剛史、川村 秀行、桶 英隆、羽塚 理々子、倉知 清志 各氏の任命に同意)…全員賛成																		
【諮問】人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて(橋口 有康、樋口 徳正 各氏の諮問のとおり答申)…全員賛成																		

津幡駅

答弁

東口の完成も見据え検討する



しばた よういち
柴田 洋一 議員

Q 駅前ロータリー渋滞の現状と対策は。

A 現在の動線・配置では、送迎ニーズに十分に対応できていないことは認識しているが、まずは、ルールを守って利用することが重要と考えている。

Q 一般車両乗り入れのルール改正など社会実験的に実証していく考えは。

A 東口整備の完成も見込まれることから、現時点での大規模な社会実験は適切なタイミングではない。
東口の供用開始後の状況を見極めながら慎重に判断していく。



誰もが利用しやすい環境整備を

こんな質問も

部活動の送迎

Q 安全対策のガイドラインは。

A 大会などへの送迎時の安全確保や事故発生時の対応を関係機関と連携しながら、ルールの明文化について検討する。

中央公園

答弁

慎重に判断する



あずま かつひこ
東 克彦 議員

Q 新病院建設にあたり、中央公園のユリノキの存続は考えているのか。

A 機能的な設計や敷地利用の検討を最優先に、ユリノキの保存や移植の可能性については、慎重に判断する。

Q ユリノキを新病院のシンボルとせよ。

A 地域に親しまれてきた景観や環境をどのように活用できるかも踏まえ、利用者や町民に親しみを感じていただける病院となるよう検討する。



かわいい花を咲かせるユリノキ

こんな質問も

子どもの権利

Q 基本条例を今こそ制定せよ。

A 本条例を制定すべき時であると捉え今年度、制定の実現を見据え、準備作業を本格化させる。

新病院

病院の移転先の再考を

答弁

移転先は総合的に最適である



にしむら みのる
西村 稔 議員

Q 町民の憩いの場である公園に病院を移転する事を再考せよ。

A 防災上の安全性、行政機能や消防との連携のしやすさ、救急医療への対応など、総合的かつ客観的に検討し、最適である。

Q パブリックコメントをもっと町民に周知させる工夫を。

A 議会での報告をはじめ、ホームページや町内全戸に配布する広報誌で周知を図っている。



病院の移転先に疑問

こんな質問も

菩提寺1号線

Q 早期完成を。

A 本年度末には、残り約200メートルの区間まで舗装が完了する見込み。早期完成に向け全力で取り組む。

災害対策

「防災道の駅」新たに設置せよ

答弁

直ちに着手することは難しい



みちした まさひろ
道下 政博 議員

Q 県は、創造的復興プランにおいて道の駅の防災機能強化を図っている。国道8号沿いに新たな防災道の駅を設置せよ。

A 森本・富樫断層帯による大規模地震が想定される中、道の駅の防災拠点機能の強化は、極めて重要な課題である。

しかしながら、新たな道の駅の整備は、初期建設費用や管理運営費、用地の確保など様々な課題があり、直ちに着手することは難しい。防災機能を強化した道の駅について調査・研究したい。



大規模地震に備えて

こんな質問も

公民館使用料

Q 生涯学習グループの施設使用料減免の要件撤廃を求める。

A 施設設置目的と運営趣旨に沿ったものであり、現時点で要件を撤廃する予定はない。



障害者福祉

相談支援事業の機能強化を図れ

答弁 新たな体制整備を進める



こくら いちろう
小倉 一郎 議員

Q 障害がある人やその家族への相談支援体制の課題は。

A 現在、地域包括支援センターが総合相談窓口として対応しているが、専門性を要する相談への対応が困難な状況である。

Q 障害者基幹相談支援センターの必要性への認識は。

A 今後は、基幹相談支援センターの早期設置を視野に入れ、具体的な検討を進める。県相談支援専門員協会からのアドバイザー派遣事業を活用し、新たな体制整備に取り組んでいる。



安心して相談できる体制を
(AIによるイメージ画像)

障害者基幹相談支援センターとは

各自自治体での設置は努力義務である。「総合的かつ専門的な相談支援」、「困難事例への対応」、「相談支援専門員への助言・支援」、「関係機関との連携強化」の役割を担う。

都市公園

しらとり児童公園の再整備は

答弁 改修の必要性は認識している



こまち みのる
小町 実 議員

Q 新病院建設に伴い津幡中央公園が利用できなくなる。都市公園機能は維持できるのか。

A 新病院建設基本計画の中で、病院面積や廃止となる公園機能も明らかにするため進捗にあわせて公園面積などを検討する。

Q 都市公園機能を補完する意味でも、しらとり児童公園の再整備を。

A 遊具の老朽化、休憩スペースの不足、バリアフリー対応など、施設の老朽化に伴う改修の必要性は認識している。新病院建設基本計画の中で検討していく。



町中心部にある、しらとり児童公園

こんな質問も

津幡高校

Q 生徒数維持に向けた連携や支援は。

A 生徒数確保は県と学校が主体となるが、町としてどのような連携・支援が可能か、調査・研究していく。

事前復興

まちづくり計画の策定は

答弁 進捗状況は計画の準備段階



たけうち たつや
竹内 竜也 議員

Q 被災し混乱が生じる中で、ゼロから復興事業を計画し進めるには困難が多い。早期復興のためには、平時に予め計画しておく必要がある。

A 計画の策定には、専門的な検討が必要となる。

本町の進捗状況は、事前復興まちづくり計画の準備段階として、関連する各種計画との整合をどのように図っていくかについて検討し、基礎データの収集などにも努めている。



災害の記憶を風化させずに

こんな質問も

町長の政治姿勢

Q 住民への説明責任に対する考えは。

A 住民と町政の間に信頼関係を構築し、説明責任を果たすことは重要である。

町営バス

70歳以上は無料に

答弁 現時点では考えていない



しおたに みちこ
塩谷 道子 議員

Q 運転免許証を持っている、持つていないに関係なく70歳以上の町営バス料金を無料に。

A 65歳以上の高齢者や障害のある方を対象に無料の福祉バスを運行している。

町営バスや、のるーと津幡を70歳以上無料とすることについて、現時点では考えていない。



高齢者に優しい公共交通に

こんな質問も

教育無償化

Q 算数セットなどを学校備品として整備せよ。

A 管理業務の増加など課題がある。経済的に購入が困難な家庭には、就学援助制度により学用品などへの支援を行っている。

議会では、さまざまな活動を通して地域課題に取り組んでいます。

表彰

石川県町村議会議長会総会において各表彰を受けました。

4/14

石川県知事表彰
(在職5期以上)
酒井 義光 議員

石川県町村議会議長会表彰
(在職11年以上)
竹内 竜也 議員



酒井議員 竹内議員

議会改革

視察先 富山県小矢部市議会

定数16人から2人減の14人に

4/28

視察内容 議員定数及び議員報酬の見直しに関する取り組みについて

小矢部市議会においては、15年の間に約5千人の人口減少や社会情勢の変化を鑑み、議会自らが主体的に議員定数や報酬の見直しに取り組んだ。市民フォーラムや議会報告会などを開催し、市民に議会活動を考えるきっかけを与えた。

現在、本町議会においても、前回の無投票選挙からの議員のなり手不足といった課題を踏まえ、議員定数や報酬のあり方について総合的に議論している。



議会改革検討特別委員会視察

研修

研修名 町村議会議長・副議長研修会

5/26~27

研修内容 宮城県蔵王町議会の取組事例～女性模擬議会～



多様な意見を取り入れたい

町政施行以来69年の空白を経て女性議員が誕生した蔵王町議会の事例発表があった。5年に議会主催で政治を身近に感じてもらうために初開催された女性模擬議会には女性7人が参加した。

その後の選挙で女性議員3人が誕生し、女性議員がいることで議会の活性化に繋がっている。本町においても、8月に女性模擬議会を開催

町民の声



いけの しょうご 池野 翔吾 議員

隙のない魅力ある町に
暮らしやすさの向上に取り組む

Q 町民から小児科医、ファミレス、スーパー銭湯を望む声がある。民間の経済活動の結果ではあるが、町のイメージにかかわる問題である。隙のない魅力ある町を目指せ。

A 河北中央病院は、月曜日の午後小児科を開設している。ファミレスは引き続き、民間事業者とも情報共有を図る。スーパー銭湯の空き店舗は民間所有であり、町としては対応できない。引き続き、暮らしやすさの向上に取り組む。



出店のハードルが高いファミリーレストラン (AIによるイメージ画像)

こんな質問も 緊急銃猟制度

Q 対応の状況は。

A ツキノワグマ等出没対応マニュアルを策定し運用開始している。なお、7月に実地訓練を行う予定。

ペット共生



なかしま としかつ 中島 敏勝 議員

調整池などにドッグランを

Q 調整池などを活用したドッグラン整備について調査研究せよ。

A 維持管理に多くの課題があるため、現時点ではドッグラン整備は検討していない。石川県森林公園「動物愛護センター」のドッグラン利用を推進する。

Q 避難所のルールとして、ケージに慣れない犬は、同行避難できないのか。

A ケージの利用やリード留めが原則。自宅・車中・ペット同伴ホテルなどでの避難を検討してほしい。



愛しいペットは家族の一員 (AIによるイメージ画像)

こんな質問も 農業人材確保

Q 農業従事者を準公務員化するなど、人材育成の制度化を。

A 法令面・財政面において、きわめて難しい。



各議員のQRコードから一般質問が視聴できます。

地域の声から描く 英田地区の未来

人が集い安心して暮らせる町へ

議会の 視点



英田地区の課題と可能性を考える

英田地区は、町内でも最大規模の面積を有する地域で、市街地近辺から中山間地にわたり、地域ごとにさまざまな課題を抱えている。

特に、防災無線の聞き取りにくさや避難所のあり方、道路・法面の復旧遅れなど、住民生活に直結する課題への不安の声が多く寄せられ、安心・安全な地域づくりの重要性を改めて認識させられた。

また、商業施設などの不足による生活不便への声も多く聞かれ、人口増加・定住促進に向けては、買い物環境を含めた生活利便性の向上が必要であると感じた。

若い世代が「住み続けたい」「戻ってきたい」と思える地域づくりに向け、企業誘致や子育て支援策が合わさった総合的な定住対策を進める必要がある。



地域の課題にみんなで向き合った意見交換会



実施報告書



意見・提言
への対応



映像を交えながら、議員が解説（議会報告会）

7年8月9日開催

議会と語ろう会
（河合谷地区）
での意見に対する
町の回答



意見・提言
に対する回答

- Q** のるーと津幡の河合谷への早期乗り入れ、運行を。
A 今後の運行エリア拡大については、将来的な公共交通の継続的な運用を見据え、総合的に判断していきたい。
- Q** 新病院の病床数の維持を。
A 現在の病床数と同じ60床を計画している。
- Q** 水害を招く倒木の対策を。
A 本来、樹木の所有者が管理を行うべきだが、緊急に安全確保を要する時は、行政が対応している。
- Q** 消防団員の確保が難しく、災害活動ができるか不安。
A 河合谷分団員以外に機能別分団員が4人在籍しており、同地区の災害時の消防力を補完している。

参加者の

声

防災

- ・防災無線が聞こえない
- ・下水道復旧の今後の計画を示してほしい
- ・英田公民館に多目的トイレを整備してほしい

地域コミュニティ のあり方

- ・世話役のなり手がいない
- ・若い世代が参加できる公民館活動を

定住促進・子育て

- ・空き家をうまく活用せよ
- ・高齢者のバスを無料に
- ・森林公園の活用推進を

その他

- ・英田公民館の「みんなのカフェ」を周知したい
- ・のるーと津幡のエリア拡大を



ピックアップ

避難所でペットも同伴できる体制を

議会の感想

同伴できる体制になっています。町でも広報しているが、さらなる周知が必要だ。

英田地区で宅地造成を

議会の感想

町全体の整合性を考えつつ、地域の人口を維持するための一つの選択肢。

桜まつりなどのイベントで活性化を

議会の感想

地域の絆を深める催事は、地域コミュニティの活性化に効果的である。

近くにコンビニエンスストアがほしい

議会の感想

暮らしの利便性向上につながる切実な声。防犯対策にも。

英田地区 議会と語ろう会

4/11
（土）

英田
コミュニティプラザ

第1部の議会報告では、委員会審査の内容と大規模災害時における議会の対応を説明しました。
第2部の意見交換会では、4つのグループに分かれ、日頃から感じている町への疑問や要望だけでなく、自分の考えなどを気軽に発言しあいコミュニケーションの場が生まれました。



歌と笑顔でつながる仲間の輪

津幡カラオケサークル



代表 なかみや みほう
中宮 美峰

津幡カラオケサークルは、いつまでも若々しく元気に過ごすために、歌の好きな仲間が集まり活動しています。シグナスホールでの中条地区サークル発表会や、条南コミュニティホールで地域の皆さんと楽しむコンサートも開催しています。また、ボランティア活動にも参加しています。新しい仲間を募集中です。歌を通して楽しい時間を一緒に過ごしませんか。



information

- 活動場所 条南コミュニティプラザ（多目的室）
- 活動日時 毎月第2・4火曜日 13時30分～15時30分
- 連絡先 ☎090-8703-5292（中宮）

- Q これからどのような町になってほしいですか。
- A 世代を超えた交流が広がり、笑顔と元気があふれる町。
- Q 津幡町の好きなスポットはどこですか
- A 文化会館シグナス。
音楽を通して人とつながれる大切な場所です。

表紙の 風景

ひまわり村

表紙の
題字は

条南小学校6年
みずのとき
水野 時達さん
の作品です



河北潟干拓地の「ひまわり村」は、干拓地のPRを目的に1995（平成7）年に開村しました。毎年5月下旬に種まきをし、7月下旬～8月上旬にかけて、35万本のひまわりが咲き誇ります。今年は、吉田新町長が「ひまわり村」村長として地元の園児と共に種まきをしました。高さ2メートルほどのヒマワリの間を縫って、全長約1キロの迷路を楽しむことができます。

条南小学校の児童会目標は、「チャレンジいっぱい笑顔あふれる条南小学校にしよう」です。条南小学校は、挨拶が素敵な学校です。毎朝、先生や友達に「おはようございます！」と大きな声が、学校中に響き渡ります。計画委員会を中心に、みんないい挨拶をするために一生懸命考えています。みんな笑顔で挨拶をすること、学校のために自分ができることを考えていることの二つが、条南小学校の魅力です。

題字を書きました



9月会議

9月4日（金）～

会議日程 ※傍聴受付は1時間前から

9月4日（金） 13時30分～ 提案理由の説明
9月7日（月） 10時～ 町政一般質問

受付場所 役場庁舎4階 傍聴受付カウンター

議会を傍聴
しませんか



日程は変更になる場合があります
詳しくは、町議会HPをご覧ください。下記まで
（問合せ先）議会事務局 ☎288-6410